

飛沫防止シートを開発

リード ジャパンタクシー専用



④ジャパンタクシーに取り付けた飛沫防止シート
⑤飛沫防止シート

シートは透明な塩化ビニール製。大きさは縦約70センチ、横約115センチ。車内天井にマジックテープやヒスで貼り付けるタイプで、運転席を囲むように設置する。ジャパンタクシーは入口



石田心也社長

つばめに40枚納品 外販も対応

タクシー用品の企画開発・販売を手掛けるリード(本社春日井市八幡町2の11、石田心也社長、電話05668・31・7700)は、トヨタ自動車のユニバーサルデザイン(UD)車「ジャパン(JPN)タクシー」専用の飛沫(ひまつ)防止シートを開発、つばめ自動車(本社名古屋市、天野清美社長)を中核とするタクシー大手、つばめグループに約400枚を納品した。シートは乗客と乗務員を飛沫感染から守るもので、UD機能を損なうことが無いよう形状を工夫した。つばめグループの特注品だが、外販にも対応する。

(榎田宏行)

テープや手すりを備え、車いす利用者や高齢者、荷物の多い旅行者ら誰もが使いやすい車両。飛沫防止シートはジャパンタクシーの仕様に合わせて設計した。シートが手すりや金銭受けなどを邪魔せず、UD機能を損なわないよう配慮している。

以前から取引していたつばめグループから、6月上旬に依頼を受けて開発に着手。天野社長の意見を参考

リードの八杉るみ常務は「お客様のニーズに少しでも貢献できれば」と話している。

同社は1962年創業。タクシー車両のシートカバーやフロアマットなどの内装品を中心に、タクシー社名表示灯、呼気アルコール測定器など、タクシー用品を幅広く取り扱う。座席に取り付けるシートカバーはリースで提供している。従業員は約200人。

